



湘南台社協だより

第16号 2026年9月25日 発行：湘南台地区社会福祉協議会 事務局：湘南台市民センター0466-45-1600

みんなで支え合うあたたかい街 湘南台

活動報告

世代間交流事業「うどん作り体験」

5月30日(土)午前9時、市民センター第1談話室で「うどん作り体験」を開催しました。小学生18人と60歳以上の方8人が参加し、和やかな雰囲気の中で世代を越えた交流会となりました。

講師には湘南台地区社協顧問の青木さんをお迎えし、中力粉と水をビニール袋に入れてこねる昔ながらの方法を教わりました。子どもたちは元気いっぱい袋をもみ、次第に「手がつかれた～」と笑い声が広がるなど、会場は終始にぎやかでした。

今年度は湘南台中学校の体育祭と重なり参加者は昨年より少なめでしたが、その分ゆったりと交流でき、うどんを囲んで自然と会話が弾みました。

「自分で作るとおいしいね」「昔はよく家で作ったんだよ」といった温かい言葉が交わされ、昨年好評だったボッチャも「またやりたい」との声が聞かれました。

袋をこねる音、笑い声、湯気の立つ鍋――

世代を越えて一緒に作り、一緒に食べる時間は、今年も豊かなひとときとなりました。



高齢者給食「はつらつ会」

今年度も4月から毎月開催している高齢者給食「はつらつ会」。四季折々の旬の食材を取り入れた献立は、食卓を一段と引き立てています。

その美味しさを支えているのは、ボランティアグループ「すばる」の皆さんの丁寧な包丁さばきです。参加された会員の皆さんからは、「家ではなかなかここまでできない」「本当に美味しい」といった声が途切れることなく寄せられています。当日の食事は、手間のかかるおかずからデザートまで、なんと8種類が並びます。毎月の参加者は25～27名と満席で、大変好評をいただいています。

「フードバンクふじさわ」へ野菜の贈呈

ひとり親約250世帯(子ども約350人)を対象として市内5カ所のパントリー(配布所)で食料配布活動を月2回実施している「フードバンクふじさわ」へ今年上半期の野菜贈呈を行いました。7月2日に実施した「地域福祉を支える会」で使った残りのじゃが芋と玉ねぎとを合わせて約360キロを野副副代表にお渡ししました。下半期にはさつま芋と里芋を贈呈する予定です。



はまゆうの会

「はまゆうの会」は、発足から30年以上の歴史続く、あたたかいボランティア団体です。寄附していただいたタオルを雑巾やバスマットに仕立て直し、高齢者施設等へお届けしています。作業は、一針一針ていねいな手縫いで仕上げています。また、縫いものしながらお喋りを楽しめる、ほっとできる、笑顔があふれる交流の場となっています。

毎月第4月曜日13時30分から湘南台市民センターにて活動をしています。気軽に楽しく地域を支える、あたたかい活動です。

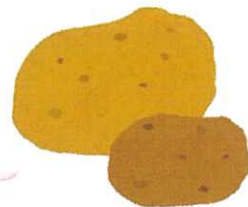


毎月たくさんのタオルのご寄附をありがとうございます。
ご自宅に眠っているタオルを随時受付中です。



地域福祉を支える会

7月2日（火）に湘南台小学校と湘南台中学校の特別支援クラスの児童、生徒、引率教員合わせて26人を市民センターホールに招待して、「地域福祉を支える会」を開催しました。高野会長が司会・進行して、参加者を小中学校に分けてバルーンの大玉送りをハンデ戦で楽しんでもらいました。最後に、地区社協メンバーが育てたじゃが芋のフライドポテト、蒸かし芋、生芋をお土産として自宅に持ち帰ってもらいました。



NEW FACE !

湘南台市民センター
市民センター長 日原 敦史

4月から湘南台市民センター長に着任した日原です。人と人とのつながりが希薄になる中、社会福祉協議会の役割は今後ますます重要になってきます。みなさんが楽しくやりがいが持てる活動ができるよう事務局として全力でサポートしていく所存ですのでよろしくお願いします。

湘南台市民センター
地域づくり担当 長田 紗織

今年度から湘南台市民センターに着任し、地区社会福祉協議会の事務局を担当させていただきます。地域の皆様とともに、地域福祉の向上に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

○湘南台地区社会福祉協議会

会 長：高野 正基
副会長：田代 美加 津曲 茂久
会 計：川野邊 文子
監 事：小泉 由貴美 山田 修

皆さんはじめまして！

